

令和6年度第5回（第50回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和6年12月25日（水） 10:00 ～ 11:10
場 所	魚沼市役所本庁舎 3階 議会会議室
出席委員	16人（うち代理出席1人） ※別紙、出席者名簿のとおり
欠席委員	9人
事務局	6人
オブザーバ	1人（エヌシーイー株式会社）
傍 聴 者	0人
会議次第	1 開 会 2 開会あいさつ 3 議 題 （報告事項） (1) AI オンデマンド交通「のるーと魚沼」の実証運行開始について （資料1） (2) 湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について （資料2） (3) 地域公共交通基礎調査事業の進捗状況について（資料3） 4 その他 5 閉 会
会議結果	承認
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1 開 会

事務局	<p>定刻になったので、これより令和6年度第5回魚沼市地域公共交通協議会を開会する。</p> <p>本日の会議は、委員総数25人のうち16人の出席をいただいております。協議会規約第12条第2項に定める過半数以上の定数に達していることから、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>また、本会議は、協議会規約第12条第7項の規定により、原則公開で行うこととしているのでご了承願う。</p> <p>開会に当たり、会長の内田市長がご挨拶申し上げます。</p>
-----	---

2 開会あいさつ

内田会長 （魚沼市長）	<p>年末のご多忙の中、会議へのご出席に感謝申し上げます。</p> <p>今年も残すところあと僅かとなったが、1年を振り返ると2年連続の夏の猛暑や9月の豪雨などがあつた中で、大きな自然災害もなく年末を迎えられたことを嬉しく思う。</p> <p>今年は11月に市制施行20周年を迎え、新たに魚沼インターチェンジが誕生した。それに合わせるような形で、ネクスト東日本様のインターキャンペーンイベントを魚沼インターチェンジまでの延長していただいたことにより、観光面や人流において非常に大きな効果があつたと聞いてい</p>
----------------	--

	<p>る。加えて、本市の更なる知名度・ブランド力向上を図るため、春から様々なシティプロモーションに積極的に取り組んできたこともあり、いろんな面で相乗効果が生まれてきているところである。</p> <p>また、おかげ様で今年はふるさと納税が順調に伸びており、昨日現在の前年度比で9億円程度増加し、伸び率にすると約140%となっている。若干米不足といった状況がみられるようであるが、地域活性化にも寄与することから、今後も首都圏をはじめ多方面へしっかりとPRしていきたいと考えている。</p> <p>さて、年明けには、いよいよAIオンデマンド交通の実証運行が始まる。この間、運輸局のご指導や、交通事業者の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力により、ようやくスタート地点にたどり着くことができたわけである。新たな公共交通の形として、市民の皆さんからも親しみを持てる、利用しやすい乗り物になっていくことを期待する。</p> <p>本日は、今年1年を総括し、来年に向けた方向性を確認するような会にしたいと考えているので、委員各位の忌憚のないご意見をお願いしたい。</p>
事務局	<p>本日の出席者については、机上に配付した出席者名簿に代えさせていただきます。</p> <p>なお、本日は報告事項(3)の地域公共交通基礎調査検討業務の受注者であるエヌシーイー株式会社から説明員として同席いただいていることを報告する。</p> <p>また、今年度一部修正を行った「魚沼市地域公共交通計画」を机上に配布させていただきました。</p> <p>さて、本日はAIオンデマンド交通実証運行の開始など報告事項のみ3件の予定であるが、限られた時間の中でスムーズな議事進行をお願いしたい。</p> <p>これより、協議会規約により議事進行を会長の内田市長に交代する。</p>

3 議 題

(報告事項)

(1) AIオンデマンド交通「のるーと魚沼」の実証運行開始について

事務局	《AIオンデマンド交通「のるーと魚沼」の実証運行開始について（資料1）説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
井口委員 (魚沼市自立支援協議会)	障がい者の運賃について、資料には療育手帳のみの記載となっているが、他の障害者手帳所持者にも障がい者運賃が適用されるのか。
事務局	療育手帳以外の手帳所持者についても、等級を問わず障がい者運賃が適用される。
井口委員 (魚沼市自	理解はしたが、そのような意味であれば表記の修正をお願いしたい。

立支援協議会)	
事務局	<p>表記が紛らわしい点については、お詫び申し上げます。</p> <p>身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方は、これまでと同様に割引となることに変わりはない。</p> <p>リーフレットなどについては、次のタイミングで修正対応させていただきます。</p>
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	<p>運行エリアが弊社路線バスの「小出＝六日町線」と重複している区間がある。</p> <p>限られたエリア内での実証運行であるものの、ある程度は乗客のスライドが予想され、これにより路線バスの収支に影響が生じるような状況になるようであれば、今後の当該バス路線の運行について協議させていただきたい。</p>
事務局	<p>路線バス「小出＝六日町線」については、地域公共交通計画の中でも位置付けているように、魚沼基幹病院への移動手段の一つとして重要な役割を担っている路線であると認識している。</p> <p>公共交通にはモードによるそれぞれの役割がある中で、路線バスが幹線交通の役割を果たしていることに変わりはなく、今回の実証運行の開始に限らず、路線バスの運行に関しては常に協議する用意はある。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>「小出＝六日町線」の起終点は魚沼市役所前となっており、乗り継ぎ改善等により、逆に相乗効果が見込めるのでは。</p>
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	<p>他市の例などでは、新しく便利な乗り物ができた場合、運賃の高低に限らずやはり利用者がそちらへ移行される傾向が見受けられるので、その辺を危惧している。</p>
事務局	<p>実証運行を通じて得られる貴重なデータや利用者の需要等を検証していく中で、運用面や路線バスとの役割分担等についても今後検討していきたいと考えている。</p>
塩原委員 (国土交通省新潟運輸支局)	<p>確認であるが、今回の実証運行は小出地域乗合タクシーの運行区域を継承する形態となっているが、現在申請している地域内フィーダー系統国庫補助金についても、引き続き交付申請を行うものと理解してよいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりである。</p> <p>実証運行の期間中は、補助対象外となる旨塩原委員からもご指導いただいているところであるが、今後本格運行へ移行した際には、引き続き交付申請させていただきたいと考えている。</p>
小島委員 (魚沼市タ)	<p>南魚沼市との協議は必要になると思うが、利用者の中にも望む声が多い魚沼基幹病院までの延伸について、見通しはいかがか。</p>

クシー協会)	
事務局	<p>そういった要望があることも承知しているし、一つの課題であると認識している</p> <p>しかしながら、現在魚沼基幹病院へのアクセスについては、路線バス「小出＝六日町線」を基幹交通と位置付けていることから、先ほど武藤委員が危惧するとした路線バス収支への影響や利用者のニーズ等を深掘りしていく過程において、引き続き検討していきたい。</p> <p>なお、路線バスの運行形態に直接的な影響が及ぶ場合は、沿線の南魚沼市及び南越後観光バスと個別具体的な相談の機会を設けたい。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>魚沼基幹病院までの延伸については、利用者目線で検討していただくようお願いする。</p>
事務局	<p>デマンド交通のみの角度で見れば不可能ではないかもしれないが、地域の公共交通網を総合的に考えた場合には、各交通モードそれぞれの役割や輸送可能人員など、部分的に切り取るのではなく包括的に検討していく必要があるものと考えている。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>路線バスも大切な移動手段である一方で、ダイヤが合わないといった声をよく耳にする。特に、病院から帰る時間帯の便が合わないとおっしゃっている住民が多くいることを念頭に、あらゆる可能性を排除せずに検討していただきたい。</p>
事務局	<p>市議会でも同様なご意見を賜っているところであるが、移動形態の転換を図ることによって、限りある交通資源の一方が廃止に追い込まれるような事態なることは望んでいない。</p> <p>その辺を踏まえ、今後の実証運行を検証していきながら、バランス感覚を持って慎重に検討していきたいと考えている。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>運賃の額については、実証運行期間中に限っての金額設定と理解してよいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり、今回呈示させていただいている運賃については、先に開催した運賃協議分科会において決定された実証運行期間中における金額であり、本格運行へ移行する際には、市場調査等を実施した上で、適正運賃となるよう改めて検討したいと考えている。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>今回の実証運行の実施に当たり、多額の予算が投入されている事情も承知している。その財源確保や一定の受益者負担、公平性の担保といった観点からも、本格運行への移行や区域拡張を検討する際は、距離制運賃の導入など様々な運賃形態についても検討していただきたい。</p>
事務局	<p>既に湯之谷地域乗合タクシー、守門地域乗合タクシーにおいて、近距離と遠距離の移動で運賃の差別化を図った距離別運賃の導入実績がある。</p>

井口委員 (魚沼市自立支援協議会)	<p>いずれにしても、協議運賃の決定については運賃協議分科会での協議や広く意見募集を行う必要があるので、システム上の設定可否等も含め、しかるべき時期に検討していきたい。</p> <p>私は以前から、乗合タクシーの魚沼基幹病院乗り入れを訴え続けてきた立場の一人である。</p> <p>先ほどの説明の中で、実証運行を通じて移動需要を探っていくとの話であったが、実際には実証運行の期間中に限った限定運行でもよいので、実際にデマンド交通を魚沼基幹病院へ通し、それと合わせて路線バスの状況についても調査してみないことには、正確な実態把握は難しいと思われるので、調査の手法等についても柔軟に考えていただきたい。</p>
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<p>運行区域は小出地域乗合タクシーを継承していることから、区域外である魚沼基幹病院へ乗り入れることはできない。</p> <p>今回の実証運行で得られる材料としては、利用者の属性や乗降場所の利用頻度といった統計データのみで、井口委員ご指摘の各交通モードの相対的な比較検証に直接的にはつながらないのも事実である。</p> <p>ご指摘の点については真摯に受け止め、他の手法を検討したい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2月という中途半端な時期から実証運行を開始するわけであるが、実証の期間はどの程度を想定しているのか。 ・運行台数2台のほかにも、予約がピーク時の対応など予備的な車両や機材の準備はできているのか。 <p>・実証の期間としては短期間となる見込であるが、今年度末の3月末を一旦の区切りとして、その時点で2か月分の動向を検証したいと考えている。しかしながら、時期的に冬期であることから、季節による移動の変化やデータの収集量等を加味しながら、待ち時間や乗合率、システム運用上の課題など更なる情報収集が必要と判断される場合は、春先以降における期間延長についても考えたい。</p> <p>・常時稼働している車両は2台の予定としているが、市内のタクシー会社4社へ車載用タブレットの配置や車両手配を依頼しており、現時点で3台目の投入は想定していないが、緊急時や混雑時の応援体制については準備が整っている。</p>
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<p>実証運行開始まで、あと1か月余り。様々な準備が進行中であると思うが、この種の事業は広報戦略が非常に重要であることから、時間の限りPRに力を注いでいただきたい。</p>
浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	<p>初歩的な質問で恐縮であるが、利用者からすれば非常に安くて便利な移動手段になる一方で、この運賃では交通事業者の採算が合うわけがない。運行経費に対する欠損分は、市が補填しているのか。</p>
事務局	<p>あらかじめ市と交通事業者とで運行単価を協議の上、積算による運行欠損額に対しては、市が補助金を交付している。</p>

浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	実証運行期間中は、通常のタクシー業務は行わないのか。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	通常のタクシー業務と、今回の実証運行も含まれる乗合タクシー業務は全く異なるものであり、通常のタクシー業務は日々行われている。 今回の実証運行は、市の依頼によりタクシー会社が車両の運行という役割を提供しているもので、料金も含め通常のタクシー業務とは分別されるものである。
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	路線バスと一部共用している停留所について、現在は定時定路線型の運行形態であるためほぼ影響が出ていないが、実証運行ではフルデマンドとなるため、特に市街地の停留所において、路線バスとデマンドの車両が縦列になってしまうような事態が懸念される。 運行に際しては、バスの動線に配慮いただけるとありがたい。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	承知した。ドライバーと共有させていただく。 将来的なビジョンの中で、運行形態を現在の停留所方式から完全なドアツードア方式に転換すれば、このような問題も緩和されると思うが。
事務局	研究課題の一つであるが、現時点では未定である。運行形態の適性等についても、今後の実証運行を通して検討していきたい。
南方委員 (新潟県立小出高等学校)	AIシステムが導入されることにより、乗客が、スマートフォンや車載器等で運行ルートを確認できるよう機能は持ち合わせているか。 これらからは予約がリアルタイムに入り、AIが運行ルートを導き出すということになると、乗客にとっては自身の目的地と現在の運行ルートの関係が、視覚的に確認可能であれば安心感が持てると思う。
事務局	そのような機能の実装有無については、未確認のためお答えできない。 先日、市内で行われた試験運行に立ち会った際には、スマートフォンから目的地への到着予想時刻が確認できることや、車載のタブレット画面に映し出されるルート案内などを確認させていただいた。
内田会長 (魚沼市長)	ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項(1)は終わりとする。

(2) 湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について

事務局	《湯之谷・守門地域における乗合タクシーの利用状況について（資料2）説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
小島委員 (魚沼市タ)	補足させていただくと、湯之谷地域乗合タクシー利用者の約8割は観光客の方である。一般のタクシーで片道約6,000円かかるところを、乗合タ

クシー協会)	クシーでは 400 円で行くことができる。 また、観光で利用されている方の中には、リピーターも多い。このような状況を鑑みると、市民、県民、県外の方等で、やはり運賃の差別化を図っていくことが必要なのではと考える。
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	私も同感である。 湯之谷地域乗合タクシーは走る街道は、運行時間帯を分けながら弊社路線バス「小出＝栃尾又線」も運行しているのだが、区間によっては路線バスの運賃よりも乗合タクシーの運賃の方が安いという極めて稀なケースとなっている。 それぞれの運行時間で競合を避けているといいながらも、特に朝の時間帯では、路線バスから乗合タクシーへ利用者のスライドが事実起きている。これらの状況も鑑み、今後乗合タクシーの運行に見直しを加える場合は、ぜひ運賃設定についても再考願う。
事務局	他の公共料金を含め、一般的に応分の負担が伴うといった点については、一定の理解をしていただけるものと考えている。 利用者目線では安い方がいいに決まっているが、今ほどの両委員のご意見については、それぞれの事業者の立場としてもっともなご意見である。 運賃設定については、これまでの経緯などを再確認するとともに、路線ごとの状況を精査した上で、応分の受益者負担、運行形態に見合った適正運賃はどの程度かといったことを含め今後検討させていただく。
内田会長 (魚沼市長)	ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項(2)は終わりとする。

(3) 地域公共交通基礎調査事業の進捗状況について

事務局	《地域公共交通基礎調査事業の進捗状況について (資料3)》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の一機関として、鉄道の検討項目は入れないのか。 交通モードごとに階層化設定について、一番の課題は乗り継ぎである。AI デマンドシステムの導入により利便性は高まる反面、高齢者の場合は特に、乗り継ぎに対してハードルが高い。輸送量を考慮しながら、基幹交通と支線交通との関係性などについて、データを用いた乗り継ぎ改善案を示せるように作業を進めていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道については、当然のことながら幹線交通と位置付けた上で検討を進めていきたいと考えている。 グランドデザインの作成段階において、ご意見のあった乗り継ぎの部分を評価項目の一つに加え、比較検討案の一部としたい。
内田会長 (魚沼市長)	ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項(3)は終わりとする。

4 その他

内田会長 (魚沼市長)	以上で、本日の議題は全て終了した。 最後に、事務局から連絡等があったらお願いします。
事務局	報告事項(1)で説明申し上げたA I オンデマンド交通「のるーと魚沼」の実証運行に関して、今後本格運行へ移行する際には、系統の変更に伴い地域公共交通計画の修正が必要となる。 その場合は、改めて計画の修正案を審議していただくことになることを、あらかじめご報告させていただく。
内田会長 (魚沼市長)	ほかはないようであれば、全ての議事について以上で終了とする。 委員各位から活発なご意見を発していただき、感謝申し上げます。 進行を事務局へお返しする。

5 閉会

事務局	閉会に当たり、宮腰副会長からご挨拶をいただく。
宮腰委員 (長岡工業 高等専門学校)	今のところ市内で大雪の兆候はみられないが、当地に限らず、山間部では積雪が進んでいる所があるようである。 公共交通のコストを算出する場合、一般的に雪に関する行政コストといった指標は含まれていない。しかしながら、特に豪雪地等では間接的にも雪対応に要する行政コストが発生しているわけで、その辺を先ほど説明のあった調査事業の中で深掘りしていくことができれば、より議論が深まるのではないかと感じた。 いずれにしても、A I オンデマンド交通の実証運行が開始となれば、多方面にわたり状況変化が出てくると予想されることから、引き続き皆様のご協力をお願いします。

別紙

令和6年度 第5回（第50回） 魚沼市地域公共交通協議会 出席者名簿

（敬称略）

No.	所属等	職名	氏名	備考
1	魚沼市	市長	内田 幹夫	会長
2	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社長岡統括センター	浦佐駅長	中島 宏明	兼湯沢駅長
3	南越後観光バス株式会社	乗合営業部 部長代理	武藤 文昭	兼小出所長
4	魚沼市タクシー協会	会長	小島 由紀子	
5	ひかり交通株式会社	代表取締役	佐藤 貴宗	
6	入広瀬コミュニティ協議会	会長	浅井 宏一	
7	北陸地方整備局長岡国道事務所計画課		(欠席)	
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部計画調整担当		(欠席)	
9	魚沼市産業経済部建設課	課長	星 和 久	監査員
10	新潟県小出警察署	交通課長	星野 将太	(代理)
11	根小屋連合自治会	会長	上 村 勤	監査員
12	小出干溝区連合自治会		(欠席)	
13	湯之谷地区自治会長連絡協議会		(欠席)	
14	広神連合自治会		(欠席)	
15	守門地区区長会	会長	佐藤 忠雄	
16	入広瀬地区区長会		(欠席)	
17	長岡工業高等専門学校	名誉教授	宮腰 和弘	副会長
18	北陸信越運輸局交通政策部交通企画課		(欠席)	
19	北陸信越運輸局新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	塩原 隆太郎	
20	新潟県魚沼地域振興局地域振興グループ		(欠席)	
21	新潟県立小出高等学校	校長	南方 伸之	
22	魚沼市老人クラブ連合会	副会長	佐 藤 彰	
23	魚沼市自立支援協議会	会長	井口 正博	
24	(一社)日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会		(欠席)	
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課	課長	茂 野 孝	